

PAT-NO: **JP02000024171A**

DOCUMENT-IDENTIFIER: **JP 2000024171 A**

TITLE: **FRONT DOOR FIXING STRUCTURE FOR GAME MACHINE**

PUBN-DATE: **January 25, 2000**

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
FUJII, TAKASHI	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

BEST AVAILABLE COPY

NAME	COUNTRY
TAKASAGO ELECTRIC IND CO LTD	N/A

APPL-NO: **JP10197629**

APPL-DATE: **July 13, 1998**

INT-CL (IPC): **A63F005/04, A63F007/02 , E05D005/06**

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide the front door fixing structure of a game machine that easiness in handling an inter-table machine is improved and a problem on space in a hall is eliminated byunnecessitating installing the inter-table machine while setting it back compared with the game machine.

SOLUTION: A front door 2 is openably and closably attached to the front opening part of a housing through a hinge 3. The rotary shaft 23 of the hinge

is set at a position on a front side by a prescribed size from the front end face of the side panel 1a of the housing looking from its upper side, and a plate 21 extending through nearly the full length of its height direction is fitted to the side panel 1a of the housing. The plate 21 is provided with a fixed part 26 fixed to the inner face of the panel 1a and a projection part 28 projecting toward the front side of the housing to the neighborhood of a position seen from the upper side of the rotary shaft of the hinge from this fixed part 26. At the time of opening the front door, the side edge flange part 2a of the front door is rotate-displaced to be closer to the projection part of the plate.

COPYRIGHT: (C)2000,JPO

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-24171

(P2000-24171A)

(43)公開日 平成12年1月25日 (2000.1.25)

(51)Int.Cl.⁷

A 6 3 F
5/04
7/02
E 0 5 D
5/06

識別記号

5 1 2
3 2 6

F I

A 6 3 F
5/04
7/02
E 0 5 D
5/06

テマコード(参考)

5 1 2 C
3 2 6 D
C

審査請求 未請求 請求項の数4 OL (全8頁)

(21)出願番号

特願平10-197629

(22)出願日

平成10年7月13日 (1998.7.13)

(71)出願人

高砂電器産業株式会社

大阪府大阪市鶴見区今津北4丁目9番10号

(72)発明者

藤井 隆

大阪府大阪市鶴見区今津北4丁目9番10号

高砂電器産業株式会社内

(74)代理人

100100262

弁理士 松永 勉

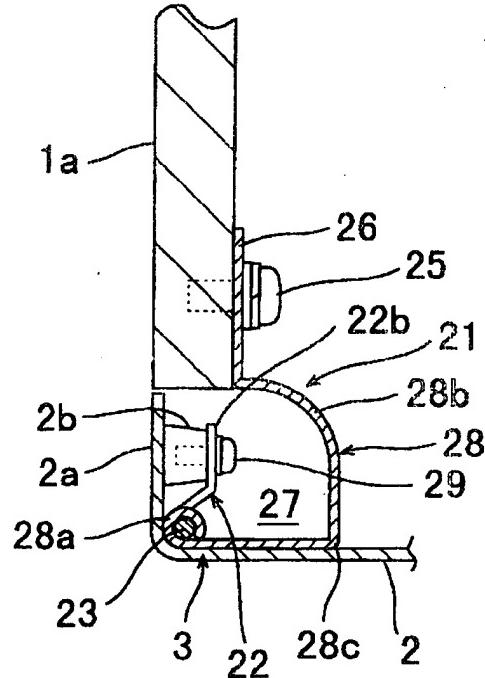
Fターム(参考) 2C088 EA15

(54)【発明の名称】 遊技機の前扉取付構造

(57)【要約】

【課題】 台間機を遊技機より後退させて設置する必要をなくし、もって台間機の取り扱い容易性の向上を図るとともにホールでのスペース上の問題を解消し得る遊技機の前扉取付構造を提供する。

【解決手段】 前扉2を筐体の前方開口部にヒンジ3を介して開閉可能に取り付ける。ヒンジの回動軸23を、上方から見て筐体の側板1aの前端面より所定寸法前方の位置に設定する一方、筐体の側板にその高さ方向略全長に亘って延びるプレート21を取り付ける。このプレートは、側板の内面に固定された固定部26と、この固定部からヒンジの回動軸の上方から見た位置の近傍にまで筐体の前方に突出する突出部28とを備える。前扉の開時には前扉の側縁フランジ部2aがプレートの突出部寄りに回動変位するようとする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 前扉が筐体の前方開口部にヒンジを介して開閉可能に取り付けられた遊技機の前扉取付構造であって、

上記ヒンジの回動軸は、上方から見て筐体の側板の前端面より所定寸法前方の位置に設定されており、上記筐体の側板にはその高さ方向略全長に亘って延びるプレートが取り付けられ、このプレートは、側板の内面に固定された固定部と、この固定部から上記ヒンジの回動軸の上方から見た位置の近傍にまで筐体の前方に突出する突出部とを備えており、

前扉の開時には前扉の側縁フランジ部が上記プレートの突出部寄りに回動変位するように構成されていることを特徴とする遊技機の前扉取付構造。

【請求項2】 上記プレートはヒンジを構成するもので、その突出部は、筐体の側板の前端面との間に前扉の側縁フランジ部が収納可能な空間を形成するように設けられ、この突出部の先端部にヒンジ軸部材を介して前扉が回転可能に連結されており、前扉の開時には前扉の側縁フランジ部が筐体の側板の前端面とプレートの突出部との間の空間に収納されるように構成されている請求項1記載の遊技機の前扉取付構造。

【請求項3】 筐体の天板及び底板にそれぞれヒンジ部材が設けられ、この各ヒンジ部材は、基端部が筐体の天板又は底板に固定されかつ先端部が前扉側に突出する筐体側ヒンジ片と、この筐体側ヒンジ片の先端部に軸部材を介して回転可能に連結されかつ前扉に固定された前扉側ヒンジ片とからなり、

上記プレートは遮蔽板の機能を有するもので、その突出部は、前扉の閉じ状態で前扉の側縁フランジ部の内側で前扉の裏面に当接又は近接して筐体の側板と前扉の側縁フランジ部との間の隙間を遮蔽するように形成されている請求項1記載の遊技機の前扉取付構造。

【請求項4】 前扉が筐体の前方開口部にヒンジを介して開閉可能に取り付けられた遊技機の前扉取付構造であって、

上記ヒンジは、筐体側ヒンジ片と前扉側ヒンジ片とをヒンジ軸部材回りに回転自在に連結してなり、

上記筐体側ヒンジ片は、筐体の側板内面にその高さ方向略全長に亘って当接して固定された固定部と、この固定部の外側側縁から筐体の前方に突出しかつ筐体の側板の前端面との間に前扉の側縁フランジ部が収納可能な空間を形成する突出部と、この突出部の先端部に上下方向に所定間隔毎に形成されヒンジ軸部材が挿入される複数の軸挿入部とを有しており、

上記前扉側ヒンジ片は、筐体側ヒンジ片の軸挿入部と上下方向に交互にかつ一列に配列されヒンジ軸部材が挿入される複数の軸挿入部と、これらの軸挿入部のうち、少なくとも2つのものから各々水平方向に延びかつ前扉の側縁フランジ部内面に固定された固定部とを有してお

り、

上記ヒンジ軸部材を中心に前扉を回動させて開くとき前扉の側縁フランジ部が筐体の側板の前端面と筐体側ヒンジ片の突出部との間の空間に収納されるように構成されていることを特徴とする遊技機の前扉取付構造。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、スロットマシンなどの遊技機における前扉の取付構造に関する。

10 【0002】

【従来の技術】近年、パチンコホールなどの遊技場においては、例えば図11及び図12に示すように、2台のスロットマシンA、Aの間に台間機としてのメダル貸出機Bを配置し、このメダル貸出機Bの紙幣投入口に紙幣を投入したり、メダル貸出機Bのカード挿入口にプリペイドカードを挿入したりすると一方のスロットマシンAで所定枚数のメダルの貸し出しあるいはクレジット枚数の加算が行われるようになっている。また、2台のパチンコ機の間にも台間機としての玉貸出機を配置して、同様にパチンコ玉の貸し出しを行っている。

【0003】一方、スロットマシンAなどの遊技機は、例えば特許第2525634号公報に開示され、また図11及び図12にも示すように、遊技面を構成する前扉aと、装置類を収納する筐体bとを備え、前扉aを筐体bの左側板にヒンジcを介して開閉可能に取り付けてなる。上記ヒンジcは、従来、図13に詳示するように、筐体bの側板b1の内面から前端面に沿う断面L字状でかつ側板内面にビスd止めにより固定された筐体側ヒンジ片c1と、このヒンジ片c1と筐体bの側板b1前面の側板外面寄り位置でヒンジ軸部材c2を介して回転自在に連結されかつ前扉a(詳しくはそのフレーム材)の内面に形成されたボス部a1にビスe止めにより固定された前扉側ヒンジ片c3とからなり、前扉aを閉じたときには前扉aの側縁フランジ部a2が上記ヒンジ軸部材c2を挟んで筐体bの側板b1の外面と略面一に連続し、前扉aを開くときには前扉aがヒンジ軸部材c2を中心として回動するのが一般的である。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】ところが、上記従来の遊技機では、例えばスロットマシンAの場合、図11に示すように前扉aを開けると、その前扉aが左側の台間機Bに当たるため、台間機BはスロットマシンAよりも後方に後退させて据え付ける必要がある。このため、台間機Bの紙幣投入口及びカード挿入口が奥まったところに位置することになり、遊技者の取り扱いに不便さが生じるという問題があった。

【0005】また、ホールでは設置スペースの確保などからマシンA、A間の台間機スペースを大きくできない事情があるため、台間機Bの筐体収納容量を増やすには

50 その奥行きを大きくする必要があるが、上述の如くマシ

ンAの前扉aの開閉の邪魔にならないよう台間機Bを後退させると、台間機BがマシンAより大きく後方にはみ出して設置されることになる。このため、ホール内の島列の間隔を余分に広く設計する必要があるなどスペース上の問題もある。

【0006】本発明はかかる点に鑑みてなされたものであり、その課題とするところは、スロットマシンなどの遊技機における前扉の開閉回動中心軸を前方に移動させるように改良を加えることにより、従来の如く台間機を遊技機より後退させて設置する必要をなくし、もって台間機の取り扱い容易性の向上を図るとともにホールでのスペース上の問題を解消し得る遊技機の前扉取付構造を提供するものである。

【0007】

【課題を解決するための手段】上記の課題を解決するため、請求項1に係る発明は、前扉が筐体の前方開口部にヒンジを介して開閉可能に取り付けられた遊技機の前扉取付構造において、上記ヒンジの回動軸を、上方から見て筐体の側板の前端面より所定寸法前方の位置に設定する一方、上記筐体の側板にその高さ方向略全長に亘って延びるプレートを取り付ける。そして、このプレートを、側板の内面に固定された固定部と、この固定部から上記ヒンジの回動軸の上方から見た位置の近傍にまで筐体の前方に突出する突出部とで構成し、前扉の開時には前扉の側縁フランジ部が上記プレートの突出部寄りに回動変位するようにする。

【0008】この構成では、前扉の開時には筐体の側板の前端面より所定寸法前方に位置するヒンジの回動軸を中心として前扉が回動し、その側縁フランジ部がプレートの突出部寄りつまり筐体の内側に回動変位することになり、ヒンジの回動軸が前方に位置する分台間機を前方寄りに設置することができる。しかも、前扉の閉じ状態ではその側端フランジ部がプレートの突出部と前後方向にオーバーラップし、側縁フランジ部の表面は、従来の場合と同様に筐体の側板の外面と略面一に連続するようになっており、筐体の奥行きを大きくすることなどは必要ではない。

【0009】ここで、上記プレートは、ヒンジを構成する場合と、遮蔽板として機能する場合とがあり、請求項2に係る発明は前者の場合を、請求項3に係る発明は後者の場合をそれぞれ具体化したものである。

【0010】すなわち、請求項2に係る発明は、上記プレートの突出部を、筐体の側板の前端面との間に前扉の側縁フランジ部が収納可能な空間を形成するように設け、この突出部の先端部にヒンジ軸部材を介して前扉を回転可能に連結し、前扉の開時には前扉の側縁フランジ部が筐体の側板の前端面とプレートの突出部との間に空間に収納されるように構成する。

【0011】また、請求項3に係る発明は、筐体の天板及び底板にそれぞれヒンジ部材を設ける。この各ヒンジ

部材を、基端部が筐体の天板又は底板に固定されかつ先端部が前扉側に突出する筐体側ヒンジ片と、この筐体側ヒンジ片の先端部に軸部材を介して回転可能に連結されかつ前扉に固定された前扉側ヒンジ片とで構成する。一方、上記プレートの突出部を、前扉の閉じ状態で前扉の側縁フランジ部の内側で前扉の裏面に当接又は近接して筐体の側板の前端面と前扉の側縁フランジ部との間の隙間を遮蔽するように形成する。

【0012】請求項4に係る発明は、請求項1に係る発

明の最も好ましい形態を示す。すなわち、上記ヒンジを、筐体側ヒンジ片と前扉側ヒンジ片とをヒンジ軸部材回りに回転自在に連結して構成する。上記筐体側ヒンジ片を、筐体の側板内面にその高さ方向略全長に亘って直接して固定された固定部と、この固定部の外側側縁から筐体の前方に突出しつつ筐体の側板の前端面との間に前扉の側縁フランジ部が収納可能な空間を形成する突出部と、この突出部の先端縁に上下方向に所定間隔毎に形成されヒンジ軸部材が挿入される複数の軸挿入部とで構成する一方、上記前扉側ヒンジ片を、筐体側ヒンジ片の軸挿入部と上下方向に交互にかい一列に配列されヒンジ軸部材が挿入される複数の軸挿入部と、これらの軸挿入部のうち、少なくとも2つのものから各々水平方向に延びかつ前扉の側縁フランジ部内面に固定された固定部とで構成し、上記ヒンジ軸部材を中心に前扉を開閉させて開くとき前扉の側縁フランジ部が筐体の側板の前端面と筐体側ヒンジ片の突出部との間の空間に収納されるようになる。この構成では、ヒンジの構成が従来のものと変わるものだけで、筐体及び前扉の形状などは従来のものと殆ど変わらないので、実施化が図り易くなる。

【0013】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図面に基づいて説明する。図1ないし図3は2台のスロットマシンA、Aの間に台間機としてのメダル貸出機Bを配置した状態を示す。各スロットマシンAは、本発明の第1実施形態に係る前扉取付構造を備えるもので、図4及び図5にも示すように、筐体1の前方開口部に前扉2がヒンジ3を介して開閉可能に取り付けられてなる。

【0014】上記前扉2は、3つのリール表示窓11、11、11及びクレジット枚数表示部12などの表示部と、スタートレバー14及び3個の停止ボタン15、15、15などの操作部と、メダル受け皿17とを有している。また、上記筐体1内には、図示していないが、複数の回転部材が各々描かれた3つのリール、これらを独立的に回転させる駆動装置及びメダルの払い出しを行うホッパー装置などが収納されており、リール停止時には各リールの3駒分の絵柄が前扉2の対応するリール表示窓11を通して外部に見えるようになっている。

【0015】上記ヒンジ3は、筐体1の左側板1aと前扉2の左側縁とを回転可能に連結するもので、図6ないし図8に詳示するように、2つのヒンジ片つまり筐体側

ヒンジ片21と前扉側ヒンジ片22とをヒンジ軸部材23回りに回転自在に連結してなる。上記筐体側ヒンジ片21は、筐体1の左側板1a内面にその高さ方向略全長に亘って当接されかつ複数箇所でビス25止めにより固定された固定部26と、この固定部26の外側側縁から筐体1の前方に突出しかつ筐体1の左側板1aの前端面との間に前扉2（詳しくはそのフレーム材）の側縁フランジ部2aが収納可能な空間27を形成する断面略コの字状の突出部28とからなり、この突出部28は、その先端縁に上下方向に所定間隔毎に形成されかつヒンジ軸部材23が挿入される複数の軸挿入部28a, 28a, …を有している。また、突出部28の筐体側コーナー部28bは断面円弧状に湾曲している一方、突出部28の前扉側コーナー部28cは略直角に折り曲げられている。

【0016】上記前扉側ヒンジ片22は、筐体側ヒンジ片21の軸挿入部28aと上下方向に交互にかつ一列に配列されかつヒンジ軸部材23が挿入される複数の軸挿入部22a, 22a, …と、これらの軸挿入部22a, 22a, …のうち、所定数置きに位置するものから各々水平方向に延びる複数の固定部22b, 22b, …とを有し、各固定部22bは、前扉2の側縁フランジ部2aに形成されたボス部2bにビス29止めにより固定されている。そして、前扉2の閉じ状態では前扉2の側縁フランジ部2aの表面が筐体1の左側板1aの外面と略面一に連続し（図6参照）、この状態から上記ヒンジ軸部材23を中心に前扉2を回動させて開くとき前扉2の側縁フランジ部2aが筐体1の左側板1aの前端面と筐体側ヒンジ片21の突出部28との間の空間27に収納されるようになっている（図7参照）。尚、前扉側ヒンジ片22の固定部22bの個数は、少なくとも2つ設ければ足りるが、多くすればその分ヒンジ片22と前扉2との固定強度を高めることができる。また、図8中、31は前扉側ヒンジ片22の各固定部22bに対応して筐体側ヒンジ片21の突出部28に形成された作業用開口部であり、前扉2を開いた時には前扉側ヒンジ片22の固定部22bがその開口部31に臨むようになっている。

【0017】一方、メダル貸出機Bは、その前面に紙幣投入口41とカード挿入口42とを有し、紙幣投入口41に紙幣を投入したり、カード挿入口42にプリペイドカードを挿入したりすると隣接する一方のスロットマシンAに対し所定枚数のメダルをメダル受け皿17に払い出し、あるいは所定のクレジット枚数をクレジット枚数表示部12に加算して表示するように構成されている。

【0018】次に、上記第1実施形態の作用・効果を説明するに、メダル貸出機Bの右隣のスロットマシンAにおいて、前扉2を開くとき、その前扉2は、筐体1の左側板1aの前端面の所定寸法前方に位置するヒンジ3のヒンジ軸部材23を回動中心軸として回動し、前扉2の側縁フランジ部2aが筐体1の左側板1aの前端面と筐

体側ヒンジ片21の突出部28との間の空間27に収納されるようになり、従来の如く前扉2の側縁フランジ部2aの端部を回動中心軸とする場合（図13参照）よりも前扉2の回動中心軸が筐体1の前方に移動することになる。しかも、前扉2が閉じられているときには、上記ヒンジ3の筐体側ヒンジ片21の突出部28が前扉2の側縁フランジ部2aと前後方向にオーバーラップし、前扉2の側縁フランジ部2aの表面は、従来の場合と同様に筐体1の左側板1aの外面と略面一に連続するので、従来の場合に比べて筐体1の奥行きを大きくすることなどは必要ではない。

【0019】以上のことから、前扉2の回動中心軸が前方に移動する分台間機としてのメダル貸出機Bを前方寄りに設置することができる（図2と図11とを比較参照）ので、スロットマシンAの前で着座している遊技者にどってメダル貸出機Bの紙幣投入口41及びカード挿入口42が近くなり、その取り扱いが便利なものとなる。また、台間機BがスロットマシンAより後方に大きくはみ出して設置されることもないので、その分ホール内の島列の間隔を狭くすることができるなどスペース上でも有利なものとなる。

【0020】その上、上記第1実施形態のスロットマシンAでは、ヒンジ3の構成が従来のものと変わるものとあって、筐体1及び前扉2においては、僅かにヒンジ3の各ヒンジ片21, 22の固定箇所が変わることはないので、従来のスロットマシンと基本設計を変えらることなく実施化を容易に図ることができる。

【0021】また、上記ヒンジ3の筐体側ヒンジ片21の突出部28は、その筐体側コーナー部28bが断面円弧状に湾曲しているため、筐体1内の装置類と前扉2側の表示部及び操作部との間に配線されるリード線などを傷付けることがない。さらに、上記突出部28の前扉側コーナー部28cは略直角に折り曲げられているため、前扉2を閉じるとき突出部28の前扉側コーナー部28cより先端側部分全部が前扉2に当接して閉じ位置を規制することになり、前扉2の閉じ状態を安定なものにすることができる。

【0022】図9及び図10は本発明の第2実施形態に係るスロットマシンの前扉取付構造を示し、51は筐体52の天板52bに前扉53を開閉可能に取り付けるためのヒンジ部材であり、このヒンジ部材51は、図示していないが、筐体52の底板に同じく前扉53を開閉可能に取り付けるためのものと対をなし、この一对のヒンジ部材51によりヒンジを構成している。

【0023】上記ヒンジ部材51は、基端部が筐体52の天板52b上にビス55止めにより固定されかつ先端部が前方つまり前扉53側に突出する筐体側ヒンジ片56と、この筐体側ヒンジ片56の先端部に軸部材57を回転可能に連結されかつ前扉53の上縁フランジ部53b上の前面寄り位置にビス60止めにより固定された前

扉側ヒンジ片58とからなり、ヒンジ部材51の回動軸である軸部材57は、図10に示すように上方から見て筐体52の左側板52aの前端面より所定寸法前方の位置に設定されている。この第2実施形態の場合、前扉53のヒンジ取付側である左側縁部には、前扉53の開閉時に筐体52との干渉を避けるための切欠き59が設けられている。

【0024】一方、筐体52の左側板52aには、上記切欠き59による筐体52の左側板52aと前扉53の側縁フランジ部53aとの間の隙間に側縁フランジ部53aの内側で遮蔽する遮蔽板としてのプレート61が筐体52の高さ方向略全長に亘って取り付けられ、このプレート61は、左側板52aの内面にビス62止めにより固定された固定部61aと、この固定部61aから上記ヒンジ部材51の軸部材57（つまりヒンジ回動軸）の上方から見た位置の近傍にまで筐体52の前方に突出する突出部61bとからなる。上記突出部61bは、その先端部に略直角に折り曲げられた当接部61cを有し、前扉53の閉じ状態では当接部61cが前扉53の裏面に当接して前扉53の閉じ位置を規制するようになっている。

【0025】そして、上記第2実施形態においても、前扉53の開時には、上方から見て筐体52の左側板52aの前端面より所定寸法前方に位置するヒンジ部材51の軸部材57を中心として前扉53が回動し、その側縁フランジ部53aがプレート61の突出部61b寄りつまり筐体52の内側に回動変位することになり、第1実施形態の場合と同様に前扉53の回動中心軸（軸部材57）が前方に位置する分メダル貸出機などの台間機を前方寄りに設置することができるので、台間機の取り扱いが容易なものとなる。また、台間機がスロットマシンより後方に大きくなればみ出して設置されることもなく、ホール内の島列の間隔を狭くすることができるなどスペース上でも有利なものとなる。

【0026】この第2実施形態の場合、前扉53のヒンジ取付側に前扉53の開閉時における筐体52との干渉を避けるための切欠き59を設ける必要があるが、前扉53の閉じ状態ではこの切欠き59の内側は、筐体52の左側板52aに取り付けたプレート61の突出部61bにより遮蔽されているので、切欠き59を通してスロットマシン内部に悪戯などをするのを防止できる。しかも、上記突出部61bの先端部である当接部61cは、閉じ状態の前扉53の裏面に当接してその閉じ位置を規制しているので、前扉53の閉じ状態を安定化させることができる。

【0027】尚、本発明は上記第1及び第2実施形態に限定されるものではなく、その他種々の形態を包含するものである。例えば上記第1実施形態では、前扉2を筐体1の前方開口部に開閉可能に取り付けるヒンジ3が、筐体側ヒンジ片21と前扉側ヒンジ片22とをヒンジ軸

部材23回りに回転自在に連結してなり、筐体側ヒンジ片21を筐体1の側板1aに、前扉側ヒンジ片22を前扉2の側縁フランジ部2aにそれぞれ固定する構成としたが、本発明は、前扉側ヒンジ片22と前扉2の側縁フランジ部2aとを一体成形し、前扉の側縁フランジ部でヒンジの一部を構成するようにしてもよい。

【0028】また、上記第2実施形態では、遮蔽板であるプレート61の突出部61aの先端部に前扉53の閉じ状態でその裏面に当接する当接部61cを形成して、閉じ位置を規制するようにしたが、遮蔽板の機能を發揮する上では、上記プレート61の突出部61aを、前扉53の閉じ状態でその裏面に当接させる必要はなく、近接させるだけでもよい。

【0029】さらに、上記各実施形態では、本発明をスロットマシンAの前扉取付構造に適用した場合について述べたが、本発明は、パチンコ機やその他の遊技機の前扉取付構造にも同様に適用することができるは勿論である。

【0030】
20 【発明の効果】以上のように、本発明における遊技機の前扉取付構造によれば、前扉の開時には前扉が筐体の前方に位置するヒンジの回動軸を中心に回動し、その側縁フランジ部が筐体の内側に回動変位するようになつてゐるため、遊技機の奥行きを大きくすることなく、台間機を前方寄りに設置することができる。この結果、台間機の取り扱い容易性を高めることができるとともに、ホール内の島列の間隔を狭くすることができるなどの効果を有する。

【0031】特に、請求項4に係る発明では、ヒンジの構成が従来のものと変わるだけで、筐体及び前扉の形状などは従来のものと殆ど変わらないので、実施化を容易に図ることができるという効果をも併有する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1実施形態に係る2台のスロットマシンの間に台間機を配置した配列状態を示す正面図である。

【図2】同平面図である。

【図3】上記配列状態を台間機の左側方から見た側面図である。

40 【図4】スロットマシンの前扉を開いたときの図3相当図である。

【図5】スロットマシンの分解斜視図である。

【図6】スロットマシンの前扉のヒンジ構造を示す断面図である。

【図7】前扉を開いたときの図6相当図である。

【図8】ヒンジの一部分（上部）の正面図である。

【図9】本発明の第2実施形態に係るスロットマシンの前扉取付構造を示す平面図である。

【図10】同断面図である。

【図11】従来の技術を説明するための図2相当図であ

る。

【図12】同じく図3相当図である。

【図13】同じく図6相当図である。

【符号の説明】

A スロットマシン(遊技機)

B メダル貸出機(台間機)

1, 52 筐体

1a, 52a 左側板

2 前扉

2a 側縁フランジ部

3 ヒンジ

21, 56 筐体側ヒンジ片

22, 58 前扉側ヒンジ片

22a 前扉側ヒンジ片の軸挿入部

22b 前扉側ヒンジ片の固定部

23 ヒンジ軸部材

26 筐体側ヒンジ片の固定部

27 空間

28 筐体側ヒンジ片の突出部

28a 筐体側ヒンジ片の軸挿入部

51 ヒンジ部材

52b 筐体の天板

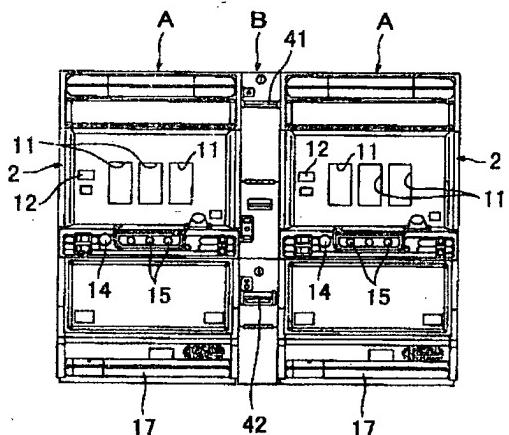
10 57 軸部材

61 プレート

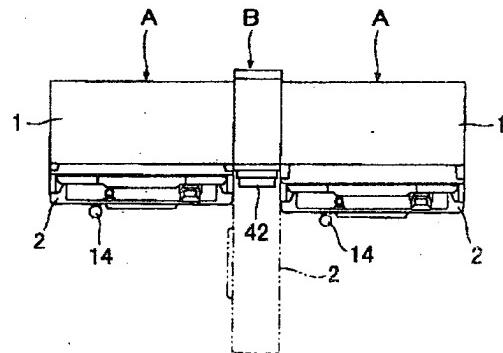
61a 固定部

61b 突出部

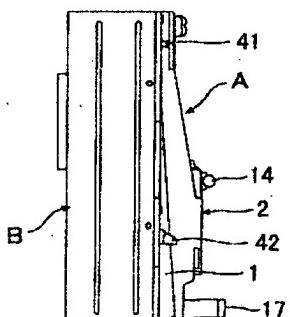
【図1】



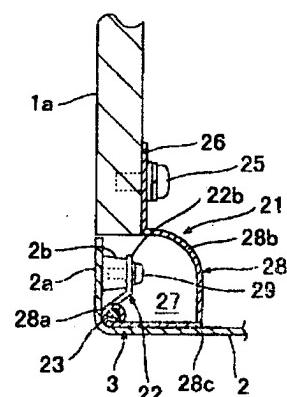
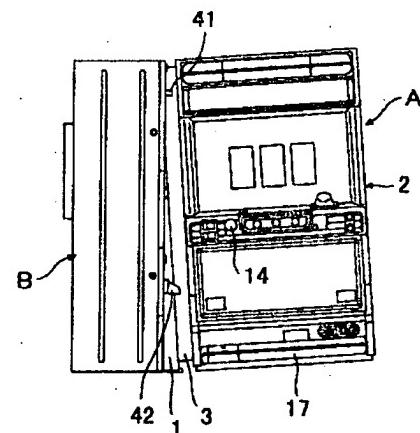
【図2】



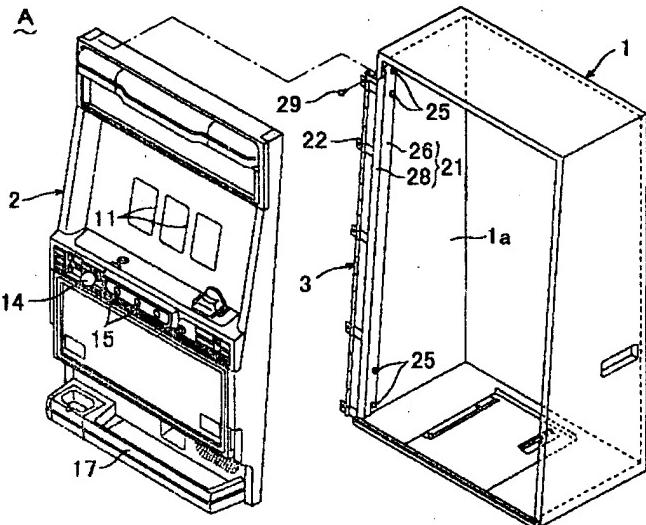
【図3】



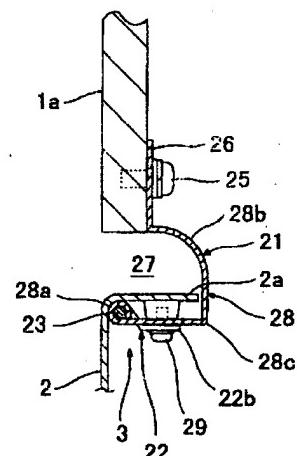
【図4】



【図5】

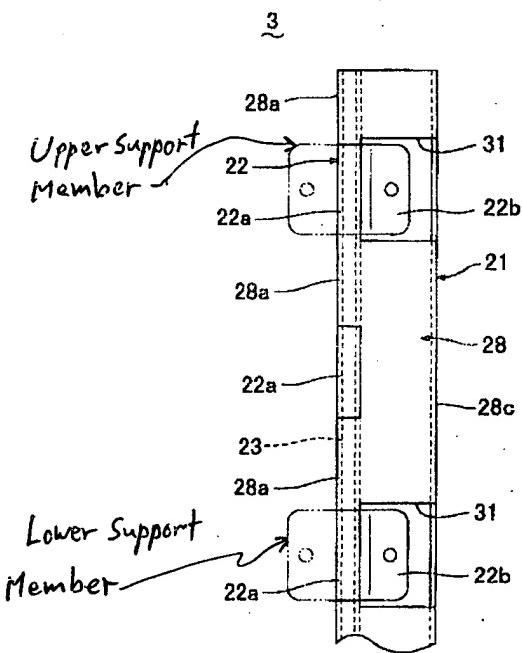


【図7】

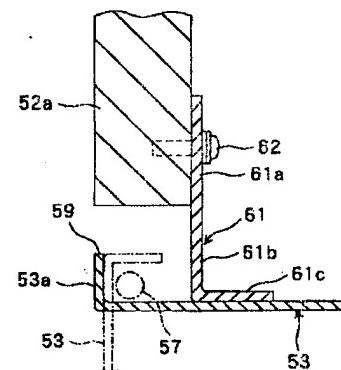
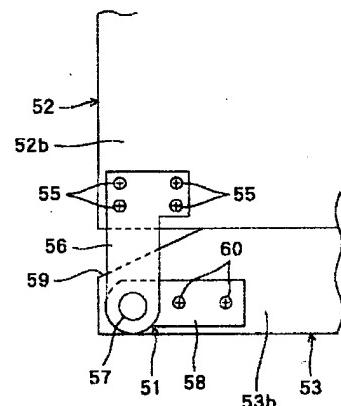


【図10】

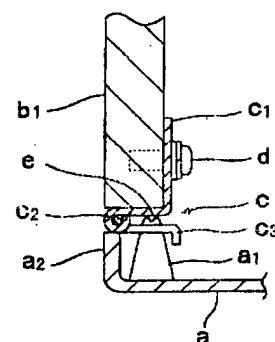
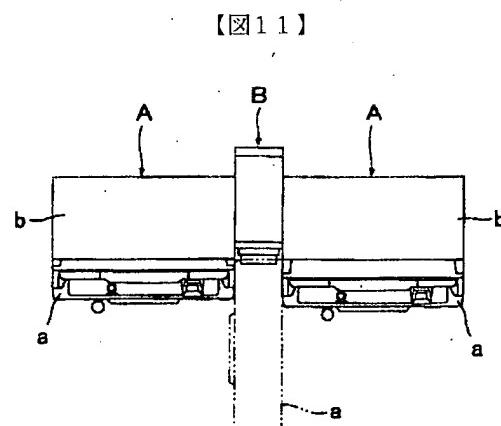
【図8】



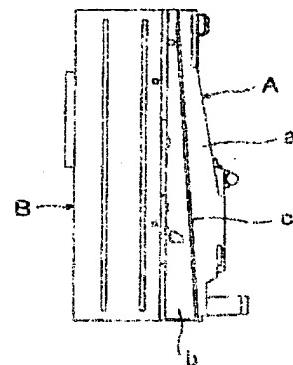
【図9】



【図13】



【図12】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER: _____**

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.